

富士川

9月号

昭和44年9月24日

No.111

富士川町役場発行

富士川町岩淵121番地

電話 1111

町の人口

44.9.1 現在 15,188人

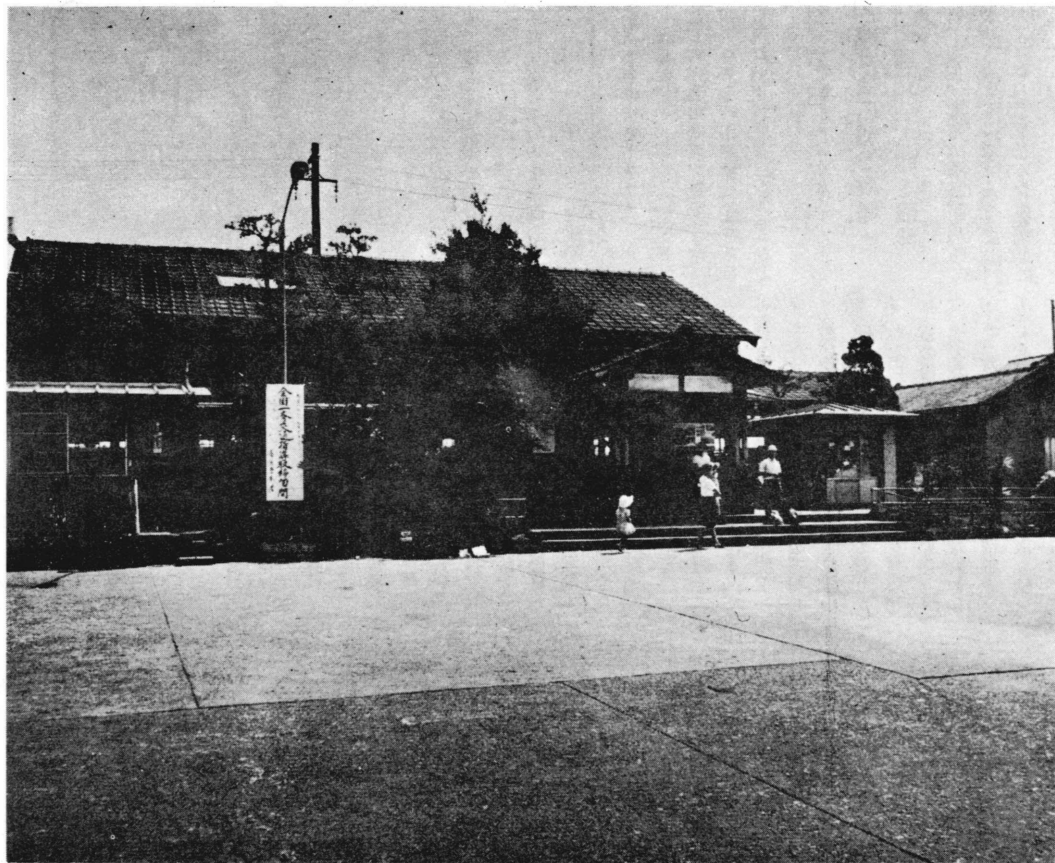
男 7,496人

女 7,692人

世帯数 3,404世帯

(面積 31.09Km²)

印刷/望月印刷所 T000304



岩淵駅舎

さようなら

あなたは八十歳、風雨に耐えて
わたくしたち町民の送迎を歓迎し
帰着を歓迎した。惜別に泣く人を
慰め、友を迎えて喜ぶ人に暖かい
微笑を贈ってくれた。

慈愛の深い、それだけに空気の
ように、高い価値を秘めながら、
なおそれを誇示しない、それで八
十年、なんと長い間。尊い歴史。

次代にゆずるあなたを、わたく
したち富士川町民は、あなたが誕
生したときの祝意に深い謝意を添
え、永遠に生きる記録へと送る。

八十年、おかげで富士川町はこ
んなにも立派になりました。

あなたの後継駅舎は、あなたの
遺志を守っていくでしょうが、た
だ一つ、わたくしたちにお願いが
あるのです。

発展し続ける富士川町の表玄関
として、新駅舎に「富士川駅」と
名のらせてください。

言ってよかったと思います。あ
なたのその笑顔。

町ぐるみ必死の

交通事故防止を

秋の交通安全運動は、十月六日から十五日までの十日間、全国一斉に実施されます。

とくに歩行者の交通事故の絶滅を期して、すべての歩行者、運転者に安全思想の徹底と正しい交通ルールの習慣づけをうながしています。

最近、あらゆる運動、取り締まりにもかかわらず、交通事故は激化の一途をたどっており、警察、町当局、交通安全協会富士川分会、各部落交通安全委員会の活動だけでは、すでに限界に達しているすさまじさです。

当町は、このため、期間中、それこそ必死な交通事故防止運動を展開します。

町、交通常会

開催を願う

公害を担当する役場企画課は、

交通公害を町から一掃するため、九月二十五日開催の区長会にはかつて、隣組単位の常会を十月六日

夜全町一斉に開いて、「酒を飲んだら運転しない。横断歩道、歩道橋利用の励行。二輪車運転者は必ずヘルメット着用のこと。交通安全徳を守る。道路へ物を置かない」

十月六日

交通安全広報を展開

交通安全運動の初日十月六日には、町、農協、部落の有線放送、町広報車、サイレンなどをフルに活用して、終日徹底的な交通安全広報を行います。

また、警察、交通安全協会富士川分会は、運転者交通教室、朝の交通指導、不正駐車取り締まり、飲酒運転摘発夜間パトロール等積極的に活動します。

県道富士川富沢線

昨年よりダンブ千台の増

町、対策を検討

県道富士川富沢線は、一時間に三百台も通るダンブのため、危険排気ガス・震動の三交通公害が深刻化し、当町は九月二十二日、建設省・県・県警・沿線住民代表など関係者57名を招き現地を視察した後、午後一時から三時まで福祉センターで交通対策協議会（会長中川町長）を開いて、早期安全対策を検討しました。

同線ダンブ通行量は、九月十八日に実施した交通量調査によって十二時間で三千五百台、昨秋より千台も増加していることが判明しました。町は、今後予想される山砂利採取で全線マヒ化にもなりかねないとして、河川敷ダンブ専用道の復活、恒久策として県道バイパスの建設、さらに安全対策として、全線四十キロ制限、積載違反・ホロなしダンブの徹底取り締まり、信号機・歩道橋建設などの実現を国・県に強く要望しています。

交通事故

昨年同期との比較

県下八月末の交通事故は、昨年同期と比べると次のように増加しています。

※八月末件数と○内は昨年

数字を上回った事故数

件数 三万二千九二一件（三千八

四二件）

死亡 五一三人（八六八）

全国五位・人口比率の死亡者数は、全国第一位。

傷者 二万三千七五五人（二三四

二人）

一 小 校 庭 整 備 成 る

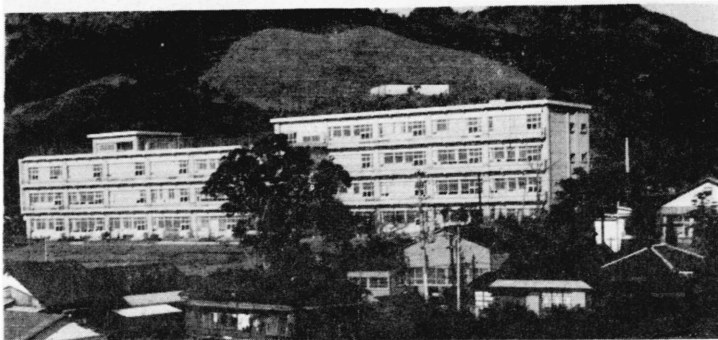


写真
校庭も整備され、名実とも
に新装なる町立第一小学校

八月五日に若月組によって着工された町立第一小学校の校庭整備（おもにグラウンド周囲のフェンス施工九月十日に完成）四年の歳月と一億七千万円を投入した、総合給食センター・体育館を含む新装第一小学校が、この完成したグラウンドで名実ともに近代校の機能を発揮することになりました。

富士川地区

水道料、隔月徴収

ことし十月分から

集金も来年度から部落で

現在、町の水道料徴収方法は、富士川、松野両地区間に差異があります。

松野地区はすでに二カ月一度の隔月徴収制を行っており、その方法も各区長さんを通じて部落で集金、一括納入していただき、滞りもなく非常に好成績をあげています。

ところが、富士川地区は毎月水道課の職員が検針し、もう一人の職員が各戸を訪問して集金しています。最近、施設の拡張により給水戸数もほとんど全町にわたるようになったため、現在の職員数では水道事業運営が不能に近い状態になってきています。企業会計のため、増員すればひいては水道料にも影響しますので、公共料金抑制上からいっても事務簡素化をもつて対処する以外方法がありません。

このような事情と両地区間の公平を期するため、水道課では議会厚生委員会にはかるとともに十月二十五日開催の区長会に協力をお願いし、富士川地区も本年十月から

隔月集金を実施することになりました。したがって、十、十一月の二カ月分は十一月に集金します。

基本水量については、上水道を例にとりますと、従来は一二m²二百円でしたが、二カ月ですの四m²四百円となります。

なお、富士川地区の納入方法についても、来年三月分までは今までどおり、水道課職員が各戸を訪問して集金しますが、四十五年度

からは、一般税金のように各区長さんを通じて部落にお願いする予定です。

望月水道課長の話「富士川地区の水道料徴収方法は、上水道設置以来続けてきた習慣で、実施直後は戸惑いや不便を感じられることと思いますが、県下最低の水道料を維持させるためにもぜひご協力ください」

公害火力防止運動

経過 (4)

7・14 午後3時、富士宮市役所

7・1の富士市全協の真相につき情報交換。富士市および県に対し抗議書を発送（詳細・広報富士川7月号2Pに掲載）

7・19 一市四町公害正副委員長

7・20 午後1時より吉原公園において抗議集会（詳細7月号4P）

7・29 富士地区産業公害事前調査実施。

7・30 午前9時町議会全員協議会。終了後、右記調査視察

7・31 午前9時半、富士市影山公室長、小永井企画課長来町。一市四町抗議書の回答

あいさつ。

8・4 午後1時から富士宮市役所

所で一市四町反対連絡協議会。富士市、県からの回答内容を検討、さらに再抗議書の発送を決定。

8・21 午前10時から富士宮市役所

所で一市四町反対連絡協議会。再抗議書の反響、8月20日開催の県公害審議会の状況について情報交換。

①富士庵原地域公害対策懇談会から脱退しない。

②一市四町のトップ会談を早急に開いて今後の方向を決める。

③東電が富士川火力の用地買収にかかった事実があれこれに対して抗議する。

④県公害審議会の委員に対して陳情する。

8・28 午前10時から富士川町役場

場で町議会公害対策特別委員会。経過報告と今後の運動の進め方について検討。

9・10 午前9時半、富士宮市で

一市四町トップ会談。市町長・議長のほか助役、公害委員長出席。

①二市四町懇談会（富士庵原地域公害対策懇談会）の県の取扱いは不満であるが既存公害の除去を基本として

ている以上、存続を確認。

②県に対し、早急に懇談会を開くことを要請、同席上不満を述べるとともに火力反対を申し入れる。

③一市四町トップ会談は今後も継続する。

9・22 午後3時、静岡市日興会館

9・19 午前10時、役場で、富士川町火力反対期成同盟会常任委員会。経過報告と今後の運動について検討。

期成同盟会で機関紙を発刊、公害火力関係の記事をたえず流すこと等を決定。

白色申告の皆さん

青色に

―清水税務署―

事業を繁栄させるためには、正しい記帳による経営の合理化・近代化が必要です。なお、青色申告にすることにより税金の減税にもつながります。

最近、簡単な帳簿になり、むしろさしうりありませんが、どうしても記帳に自信がなく、青色申告に踏み切れないで迷っておられる方のためには、税務署が初歩的な指導、その他の相談に応じます。青色申告指導係を設けてありますので気軽にご相談ください。

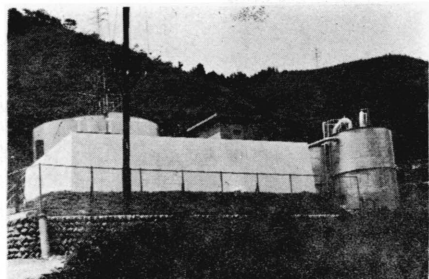


写真 ことし5月10日に完成した吉津浄水場（5月号に詳報）

佐藤県議会議長

就 任 祝 賀 会

富士川町佐藤一郎後援会(秀村敏明会長)ならび自民党富士川支部(望月広巳支部長)共催による「佐藤一郎県議会議長就任祝賀会」が九月五日午後三時一小体育館で開催されました。

これは、佐藤一郎県議が、六月定例県議会で議長に選出就任されたため、同氏の榮譽を祝い今後の活躍を鼓舞するため行なわれたものです。

出席者は三百四十余名。

佐藤氏は、戦後の混乱期に三十代の若さで蒲原町長を二期八年、県議会議員として四期その間県議会の各要職副議長を歴任、ヨーロッパの地方自治行政の調査研究のため外遊するなど、活躍しています。

なお、七月八日、庵原郡三町主



自衛隊協力会発足

会員千三百人

自衛隊富士川町協力会の結成式が八月三十日午後一時、一小体育館で挙行され、次のように役員、事業の決定をみました。なお、会員数は一、二五八人(特別会員九賛助会員三四・正会員一二一五)會長 中川国兵(町長)

- 副会長 小林正衛(区長会長)
- 高岡文夫(助役)
- 常任理事 岩山義隆(隊友会)
- 理事 各種団体長52名
- 監事 芦沢美之作
- 字佐美 裕
- 事業(44年度)
- ①時局講演会の開催
- ②自衛隊との懇談会、施設見学
- ③隊員の慰問、激励会
- ④自衛隊の各種行事の参加・PR
- ⑤その他協力達成に必要な事業

富士川町総合二年連続優勝

一般の部全種目に優勝

第4回庵原郡陸上競技大会

第四回庵原郡陸上競技大会は、庵原郡陸上競技協会と庵原郡連合青年団主催により、8月31日、富士川第一中学校庭で開催されました。

富士川町体育協会陸上競技部(部長若月伸元)は、一般15名、青年25名の選手を派遣、総合で輝く二連勝、一般一位、および青年二位の成績をあげました。

富士川町 総合	優勝	一八四点
一般一位		九三三
青年二位		九一点
個人入賞者、次のとおり		
一般の部(高校)		
一位	鈴木茂美	五秒六
二位	鈴木茂美	五秒六
三位	鈴木茂美	五秒六
四位	鈴木茂美	五秒六

一般の部(社会人、三十歳未満)		
一位	丸山博康	二秒二
二位	古屋逸臣	四分四八秒五
三位	藤島 肇	一二六七
四位	藤島 肇	一二六七
一般の部(三十歳以上)		
一位	清 堅司	一二秒九
二位	若月伸元	一二二五
三位	若月伸元	一二二五
四位	若月伸元	一二二五
一般の部(四十歳以上)		
一位	加藤正直	九秒八
二位	加藤正直	九秒八
三位	加藤正直	九秒八
四位	加藤正直	九秒八
砲丸投		
一位	天野金義	九m三三
二位	天野金義	九m三三
三位	天野金義	九m三三
四位	天野金義	九m三三
四百リレー		
一位	鈴木茂美	四八秒六
二位	鈴木茂美	四八秒六
三位	鈴木茂美	四八秒六
四位	鈴木茂美	四八秒六
各校・園運動会日程		
9月21日(日) 一中		
28日(日) 二中		
10月5日(日) 一・二小		
10日(祭) 二幼		
19日(日) 本通		

秋の運動会のはしり

青年団体育大会 大会新も出る

町連合青年団（丸山善浩団長）の体育大会は、町民体育大会をはじめ町内各校・園の運動会に先がけて八月二十四日午前九時から午後二時半まで一中校庭で挙行されました。

前日の台風一過で快晴にめぐまれ、北松野、南松野、木島、岩淵中之郷、富士川各分団の精鋭九十余名が参加し、各種目に熱戦を展開しました。

当日の競技中、千五百で清勝元君が四分三一秒九の大会新を記録（大会記録は42年同君の四分三秒六）しています。

総合優勝は、団結の強さを誇る北松野分団が二連勝を飾りました

走幅 丸山善浩 五m四七 木島砲丸 久保田和作 一三m〇一 清水球投 小池一義 七〇m七〇 清水六〇 山中みどり 九秒八半 在家球投 同右 四五m五〇 走幅 小池富江 三m五五 清水（球投・ソフトボール投）

丸山団長「種目別個人優勝者には、歴代青年団長の方々から優勝杯を寄贈していただき、深く感謝しています」

町民体育大会迫る

10月12日（日）

雨天の場合は19日（日）

町民体育大会が近づきました。ことは大会開催第13回目にあたり十月十二日（日）に一中校庭で挙行します。

なお、当日雨天の場合は一週間後の日曜日、十九日に行ないます午前八時開会式、競技開始は八時半です。

対抗種目は、全町を北松野、南松野、木島、相生町、上町……等16区に分けて競技する呼物の各区対抗リレー、六三リレー、婦人順送球のほか、自由参加の二百・千五百メートル競走など10種目あります。

リクレーション種目13の大半も16区から選ばれた人たちが参加し観衆を沸かせることでしょう。

種目はほぼ例年どおりですが、綱引が各区対抗となり、一般男子四人で行なう障害物リレーが新設された点が変わっています。

大会を主管する町体育協会（若月清会長）は、組合わせ抽せん会を九月二十七日午後七時、町立図書館に各区体育部長を招いて行ない、十月四日に競技役員打合せ会、十一日に大会準備を完了する予定で日程を進めています。

対抗種目は、全町を北松野、南松野、木島、相生町、上町……等16区に分けて競技する呼物の各区対抗リレー、六三リレー、婦人順送球のほか、自由参加の二百・千五百メートル競走など10種目あります。

快よい痛み

スポーツの秋の第一ページを飾る「青年団体育大会」に参加し、久しぶりに飛んだり走ったりしたためか、大会後数日間足腰の痛みで思うように身体が動きませんでした。しかし、この痛みは病氣からくる頭痛、腹痛の不快な痛みとは全然違って、何かし終

えた快感というもので満たされ、直ったときのすがすがしさはまた例えようもないくらいです。

とかく運動不足になりがちな現代、若者のありあまるエネルギーを心身鍛練のためにぶつけて、この快い痛みを思う存分味わったらどうでしょうか。

上町 望月由巳



写真 富士川町連合青年団体育大会での綱引、むかで競走風景

○個人優勝者

- 総合優勝 北松野
- 二位 岩 淵
- 三位 南松野
- 男子優勝 北松野
- 二位 木 島
- 三位 南松野
- 女子優勝 北松野
- 二位 岩 淵
- 三位 富士川

花輪全廃

葬儀改善を実施

十月一日から町内の葬儀について次のように決定しましたので、皆さんのご協力をお願いします。

葬儀改善項目

- ① 通夜……遅くも九時には打切る
- ② 知らせ……町内で連絡のとれない場合のみとし、ほかはずべて電話・電報連絡とする。
- ③ 手伝い……小人数にとどめ、謝礼はしない。
- ④ 火葬……親類・組合で、はでにならぬよう営む。
(火葬料は廃止になっており、火葬場が混雑して町外使用の場合は町がその料金を支払う)
- ⑤ 葬列……原則として廃止する。
- ⑥ 花輪……町内の花輪は全廃し、他町村からの花輪については全廃の線に沿う。
- ⑦ 生花……一对にとどめる。ただし、施主の生花は仏具とみなす
- ⑧ 祭壇……町当局が特別に契約した葬具店を利用する。
- ⑨ 精進落し……近親者のみで質素に行なう。
- ⑩ 香典返し……ハンカチ一枚またはハガキ五枚程度にする。

◆◆◆

富士川町生活改善委員会(小林正衛委員長)は、中川町長の諮問をうけて、町内各家庭慶弔行事の経済的・時間的簡素化をはじめ、時代に即した生活改善を推進するため審議を重ねてきています。今回、その内の葬儀改善をはかるため、六月区長会で皆さんの検討・了解を経た後、案を作成、八月六日に中川町長に提出、実現したものです。

生活改善委員会委員

委員長 小林正衛(区長会長)
委員 浅場峯一(区長会副会長)
宇佐美裕(区長会副会長)
篠田弥天(宗教家代表) 芦川守正(文化財専門委員会委員長) 稲垣甲子男(郷土史家) 望月八代(婦人会長)
原田良之輔(教育長) 平田広胤(教育課長) 大久保芳夫(企画課長) 芦川藤雄(総務課長)
望月計夫(住民課長) 田村重雄(公民館長) 池谷熊夫(社教係長) 斎藤博(広報富士川) 審議経過

2月5日第一回生活改善委員会

5〃29〃第二回

5〃30〃協議案を各区长に配付、各区の意見をきく。

6〃10日区長会に提案、検討をはかる。

6〃21〃第三回生活改善委員会。最終案検討。

8〃6〃教育課の事務調整後、葬儀改善案を町長に提出。

社会通信教育

望月さん受彰

昭和44年度文部省認定の社会通信教育終了県関係者の内、とくに成績抜群の方が、十月十二日、県教育委員会の伝達によって、静岡市伝馬町小学校で文部省表彰を受けることになりました。

当町では、望月良吉さん(東町野田合板勤務・51歳)が書道の社会通信教育で該当し、受彰しています。(同氏は国際親善書道コンクールで文部大臣賞を獲得するなど数多く受賞しており、広報富士川43年12月号2Pにも紹介されています)

心と体の健康を

▽婦人会夏の学習△

町婦人会(望月八代会長)が町

写真 婦人学級料理教室



教育委員会の委嘱を受けて実施している家庭教育学級(指導主事・田村公民館長)は、富士川学級(福祉センター)と松野学級(一中)とに分けてそれぞれ学習活動が続けています。

八月と九月のテーマとして、富士川学級は「若々しく美しく」、松野学級は「生活の設計」をとりあげ、一連の講習を開きました。

なお、婦人会指導者研修会も八月三、四の二日間開催しています。

富士川学級

八月四日・第三回学習

美容食の講習と民謡踊りの練習

九月四日・第四回学習

デザイナー田中先生の指導により、ひとりひとりが似合う色と柄、デザインの若さを研究する。

松野学級

八月二十二日・第三回学習

家計簿記帳学習。

指導者講習会

八月三日

「婦人会役員としての視点」「婦人会運営の諸問題」について分科会、全体会議を開いて研修。

八月四日

スタミナ料理学習「かん詰を利用して」の教室。体力づくりのために開催される。

町・選挙有権者

一万人を越す

九月十日現・一万八十三人

38 回 町 敬 老 会

七五歳以上全員に祝寿金

第38回の富士川町敬老会は九月十七日午前十時、大富士ヘルスセンターで開催されました。

石川マサ（富士見町） 望月ふく（相生町） 宇佐美シズ（櫛下町） 朝日奈スマ（櫛下町）の七名の皆さん。

■90歳以上祝い：坪内佐吉消防団町から年別にそれぞれ座ぶとん

毛布・座イス・シート。

90歳 長谷川きん（相生町）

若月さき（川坂）

風岡卯之吉（大北町）

91歳 天野なか（大北町）

92歳 望月サイ（室野）

池谷虎吉（舟山町）

大嶽賢宗（新四）
荻野さわ（本通四）
94歳 生田台宗（幸町）
望月やす（八幡町）
吉田とめ（大北町）
計十一名の皆さん。

■75歳以上祝い：町婦人会長から全員に記念品。

■最高令者：町青年団長から三名の方に記念品。

■86歳以上祝い：町文化協会手芸部から三十三名の皆さんに記念品。

■80歳以上祝い：一小児童から百四十九名の皆さんに、自分たちの作品や造花を贈る。

■85歳以上祝い：桜台幼稚園から幼児総。

■善行者表彰：町長と町交通安全対策委員会から記念品。

芦沢潤治さん（東町二・78歳）

は、長年、幼稚園児の通園に付き添って、交通事故から幼児を守り町交安対会長から感謝状を贈られたもの。

来賓の鈴木富治町議会副議長、望月八代婦人会長、若月幾太郎老人クラブ連合会長がそれぞれ長寿を喜ぶ祝辞を述べています。

皆さんは午後三時まで演芸を楽しみ、歓談に興じました。

なお、敬老会開催については町婦人会の全面的な協力がありました。

三五六人の人たちが、今後健康で明るい暮しができるように町政を望むとともに、この方々の深い経験が町の、郷土の支えとなられるよう期待されます。

共同募金

十月一日から

わたくしたちは、世のなかから不幸をなくし、みんながしあわせであるようにという願いをもって共同募金に応じます。

集まった寄付金は、各種の民間社会福祉事業に計画的、合理的に配分されて、福祉の向上に役立っています。

ことしも、十月一日から十月二十五日まで、共同募金、十二月

一日から三十一日までは歳末助け合い募金と、それぞれ実施されます。

◆ことしの目標額

静岡県 六千万円

富士川町 四十万円

◆去年の町の実績

三九万六千五百円

ことしも、ぜひご協力ください

田んぼに

チ・ユ・ー・害

実りの秋を迎えた今、田んぼは稲の穂を見せている。

中之郷河原田んぼは例外でないが、はなはだ困ることがある。

この一帯は近年、工場の進出や宅地転換などのために放置される田んぼが増えてきてそこにネズミが大繁殖し、稲が穂を出すころになると、一斉に田んぼに押寄せ稲を食い倒してしまうからだ。

農家は、毒餌をまいて防衛にこれ努めているが、効果はあがらない。

何か一発でネズミを退治する方法はないものでしょうか

土橋通信員（中之郷）



44・7・20（8・19）

人の流れ

（敬称略）

祝 結 婚

区名 氏 名 保護者 続柄
東二 新 郎 新婦 旧姓
安田善彦 みつ子戸塚
富士見 望月秀樹 二子子野口

祝 誕 生

区名 氏 名 保護者 続柄
日の出 工藤英行 浩輔 長男
東一 望月 覚 圭六 長男
宮町 浦田美香 禎一 長女
川坂 桐谷滋宏 勝征 長男
新町 土屋修一 孝 長男
川坂 二又川隆治 勝伸 長男
幸町 岩田多加枝 和茂 長女
小池 島田三保 六郎 長女
小池 島田こまつ 六郎 二女
宮町 佐藤文彦 宏 長男
幸町 上原宙子 良次 長女
堺町 杉山育美 利夫 長女
四十九 菅野喜之 長光 二男
相生 齋藤直喜 喜助 長男
本一 山田貴之 実 長男
宮町 遠藤孝史 幸雄 長男
相生 佐野晃司 晃正 長男
四十九 佐々木恵子 友幸 長女
四十九 望月美奈子 隆次 長男
幸町 高橋香苗 光之 長女
小池 中川麻里 晴二 長女
八幡 西村 学 勝利 三男

転 出 （結婚）

南町 望月佳代子 誠一 三女
大北 佐野光洋 僚市 長男
南町 八谷結美 啓治 長女
清水 岡野利昭 栄太郎長男

折 異 福

区名 氏 名 年令
かきあな 望月けい子 横浜市
旭町 森 岸江 富士市
相生町 斎藤まち子 富士市
折 異 福
清水 鈴木大助 八二

編集 覚 書

◆終って一服、紫煙を追った先で時計の針が二時十五分を差している。宵に休めた頭は冴え、そのくせ熱い、こころぎの声。
◆広報通信員、清水、植松両君は青年国内研修で九州は大分へ。何か広報土産をもってくるだろう。
◆皆さんの周囲の明るい話、楽しい話をお知らせください。こんな世相だから、せめて美しい話の一つでも思っています。
81—1—1 広報富士川 斎藤 博

紙漉きの唄

富士川 夜話 氏 車 十

——二台の車で行なわれた教育委員会の民俗資料収集を手伝って一日町内を回ったとき、南松野のある山の中で次の話を採録した——

納屋の一番隅で、てえへんずらがな、がさもいけえし……。こんなが民俗資料ちゅうもんかのう。もつとも、紙漉舟なんちゅうのは、どけえらでもいらなくなりやあ叩き潰してしまつたずらが。ええに、そつちやあ力のある、ええ若い衆がいるずらに。

そう、この段とこんでの、黒まむしに噛まれたんだが。わしらが家じゃあ、こんなふうには母屋と勝手場が離れてるでまことまづいに……。屋間見た奴だった。九時頃だ、勝手場へ水を呑みにいこうと戸を開け、そこん段に足をかけたとたんにやられたんだ。……今じゃあ、ええ注射ができたによ、息子の車で秀村先生とけえ飛んでつて一本打ってもらったら、ええ按配に病まねえよ。

さっきの話だが、わしらがこすい時分は、この松野つちゅうとかあ街道筋はもんこんこんな山ん中ても紙漉きが盛んだったでなあ。

そのおんじいは、こりやあ腕がよかつたらしい。子どもん心にも鮮やかな手捌きで、こてを使う身のこなしに、唄の調子つちゅうかそんなもんを感じたに……。が、暮しの方はからつきしだったようだ。酒が好きなおんじいでな、それで嫌われただかどうだか、紙漉き卒公の先でもらつたおつかあにやあ逃げられるし、とどのつまりは総領、つまりわしらがおやじの居候に舞い戻つたつちゅうこんだおやじも百姓の片手間に紙漉きをやってたんで、舟だけ一つ増やしてあてがったもんだ。



そのおんじいはまた鉄砲が——まあ、わしらが思うに名人だった「ええか、あそこん飛んでるのを撃つてみせるに」つちゅうと、ズドンと一発だったでな。あの目付きがとてよかつたになあ。

もう一人のおんじいも紙漉きでこの人あ、えらかつたに、わしらはとうとう見じまいしちまつたが話はおやじさんからよく聞かされたもんよ。

酒は呑まねえ、腕はええし、よく稼いで残すばかりでよ……。ただこの人あ、なぜか嫁さんをもら

うのを震えるはどいやがつていてそのこんと、読書が好きだつちゅうこんで変人扱いする向きもあつたらしいが、ともかくおとなしい人だったようだ。それが、年でもねえに病気で死んだとき、なんでもその当時の銭で三百円も大金を残してたつちゅうこんだが、それが、そのおんじい、形ばかりでも養子にやつたもんずらから、すっかり先方の家で収めてしまつたと、そりやあ、おやじさんこぼしていつたけ。うちのおんじいはただ黙っていたに。

あの日のこんはわしの胸に焼き付いてる。あそこんこんに紙漉場があつてな。薄暗い中におんじいしかいなかった。わしは、なんか話しかけようとして近づいたんだが、そのとき、低い低い声で唄うのが聞こえたで思わず立ち止まつた。声をかけちゃあなんねえようなもんを感じたがらだ。

おんじいの唄を聞くのはこのときが初めての最後だった。

いや、唄というよりやあ、むせび泣きだったかもしれねえ。そのむせび泣きの唄が単調な節回しで何度も繰り返されてた。

あの、きりつとした手捌きは消え失せ、まるで疲れきつた後姿だったに……。なに？……うん、行方知れずで終つたんだよ。